

概日リズムを制御する 分子メカニズムの発見

解説

向正則 氏

(理工学部生物学科 教授)

日時

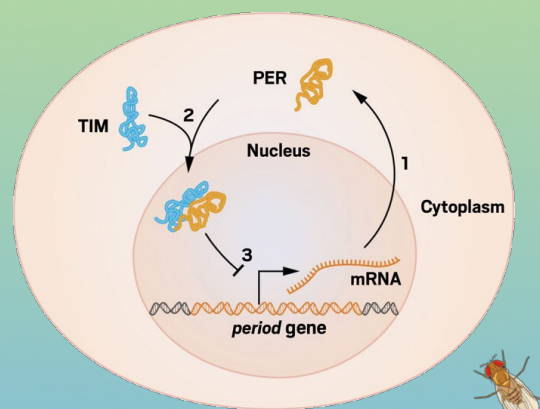
11 / 1 水

12:20~12:55

場所

サイエンス・ラーニングコモンズ

(岡本キャンパス北校舎・7号館1階)

一般の方も
参加可能

© Nobel Assembly at Karolinska Institutet

サイエンス・ラーニングコモンズ（SLC）では定期的にランチョンセミナーを開催して、甲南大学の学生や教職員のみなさんに、最新の科学研究をわかりやすく解説します。今回は、生物学科の向先生による今年のノーベル医学・生理学賞の解説です。今年のノーベル医学・生理学賞は、24時間周期の体内時計のしくみを分子レベルで明らかにしたJeffrey C. Hall、Michael Rosbash、Michael W. Youngの3氏に贈られます。受賞の背景や、私たちの健康との関わりなどにも触れながら、受賞内容を紹介しします。文系学部の学生や教職員の皆さまも、この機会にぜひSLCにお越しください。一般の方も参加可能です。多数のご来聴をお待ちしています。

※ 当日はお弁当の販売もあります。ランチをしながら最新の科学の話題をお楽しみください。

世話人

日下部 岳広 (理工学部生物学科)

問い合わせ先

理工学部・知能情報学部事務室 (内線6401)

次回

第7回SLCランチョンセミナー 甲南の教員が解説するNobel Prize 2017 ③ 化学賞

解説：内藤 宗幸 氏 (理工学部機能分子化学科准教授)、渡辺 洋平 氏 (理工学部生物学科教授)

主催：甲南大学理工学部

共催：『ビッグヒストリーを基軸とした文理融合型学際教育プログラムの開発』プロジェクト